

## 黄金期の浮世絵 歌麿とその時代展 ―美人画と役者絵―

会 期 2013年10月5日(土)～11月24日(日)

喜多川歌麿(1753?-1806)は、浮世絵における「美人画」を代表する絵師です。錦絵がもっとも華やかに展開した天明・寛政期(1781-1801)に活躍し、顔をクローズアップした「美人大首絵」では女性のこまやかな仕草や表情に迫り、その性格や気質といった内面までも表現しました。同時期に美人画と並んで人気を博したのが役者絵です。役者の一瞬の表情を捉え、大胆に表現した東洲斎写楽(生没年不詳)や舞台上の華やかな姿を魅力的に描いて歌舞伎ファンの理想をかなえた歌川豊国(1769-1825)らが活躍します。本展では、歌麿をはじめ浮世絵黄金期を彩った絵師たちによる「美人画」「役者絵」を、肉筆画を含めた約130点でご紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館(〒370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日(祝日および群馬県民の日〔10月28日〕は開館し翌日休館)

会期中の休館日: 10/7・15・21・29、11/5・11・18

観 覧 料 一般: 500円(400円)、大学・高校生: 300円(250円)

- 高崎市美術館との共通券は一般: 800円、大学・高校生: 500円
- ( )内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります
- 10月28日は群馬県民の日につき無料開放

主 催 高崎市タワー美術館

監 修 中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)

企画協力 財団法人 自治総合センター

後 援 国際浮世絵学会、高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、J:COM 群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

### 関連事業

- 講演会「歌麿とその時代 浮世絵は謎がいっぱい」 本展監修者・中右 瑛 11/9 14:00～
- 学芸員による作品解説会 10/5、10/20、11/2、11/17 14:00～